

回覧

村上市生涯学習推進センター 発行

マナボーテ村上

2016年 3月号

今月号の話題

- ◆ むらかみ市民講座（中央）
- ◆ ちょっと本気なおしゃべりCafe（中央）
- ◆ 朝日郷土史研究講座（朝日）
- ◆ わんぱく自然塾（村上）
- ◆ 演劇鑑賞会（山北）
- ◆ 法律講座（神林）
- ◆ サークル紹介（神林）
- ◆ イベント告知 3月・4月の予定

市民が主役のまちづくりをめざして

集いの場を自ら創る

企画提案型事業「むらかみ市民講座」の平成27年度事業として2月23日（火）から3月8日（火）にかけて「コミュニティスペース運営ボランティア養成講座」を実施しました。（企画提案者：NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター）

集いの場で生かせる実践的な講義



人間関係が希薄になっている現代社会では、地域の中で気軽に集える場、人とのつながりを感じられる場が求められています。村上市でも増えつつあるコミュニティスペース（地域の茶の間、ママカフェ、おしゃべりCafeなど）を運営するボランティアとして活動するための基礎知識を学ぶ講座として実施しました。

当日は、おしゃべりCafe、まちづくり協議会、地域おこし協力隊、公民館関係など様々な集いの場に関わる方が19名参加し、コミュニケーションの基本などを学び、すぐに役立つ実践的な講義となりました。

参加者からは「とても勉強になりました。色々な人とのつながりもできてうれしかったです」などの感想が寄せられました。

マジカフェ 本気Cafeで若者交流

村上市では若者交流支援事業「おしゃべりCafe」をNPO法人都岐沙羅パートナーズセンターに委託し、月1回実施しています。「おしゃべりCafe」に集うメンバーが主体となり、2月27日（土）『ちょっと本気なおしゃべりCafe』略して「マジカフェ」を開催しました。



村上について語り合う若者たち

高校生から40歳の方まで20名を超える村上の若者が集まり、ちょっと本気で自分のこと、村上のこと、これからのことについて本音を語り合いました。自分の趣味や、村上の好きなところを話すうちに共感する仲間ができたり、やってみたいことや夢が具体的に広がっていったりと、今後への期待が高まる楽しい時間となりました。

まっことローカルな歴史講座

朝日地区公民館では、2月20日（土）に村上市総合文化会館で、昨年度に引きつづいて、2回目の地元朝日の郷土史研究講座を開催しました。

前半は、原小須戸在住の渋谷直喜さんによる「小須戸の砂鉄と直江城洲公、鉄砲鍛造」、「朝日のタングステン・モリブデン鉱山」の2題。後半は、岩沢在住の飯沼洋二さんによる古民具館「隠居屋」開設までの経緯を紹介。本題の「本庄繁長公」考察と題し、ご当地岩沢に関する話を中心に熱く語りました。

地元朝日にも新発見がいっぱい



参加者の中から「地元のことだが初めて知った」「朝日にもまだまだ知らないことが一杯ある」「ぜひ、この企画は続けて欲しい」などの声がありました。会場の参加者から質問がでると、他の参加者が説明する一面もあり、地元を愛するみなさんが自分たちの講座として学びあう姿が見られました。

朝日地区だけでなく荒川や村上地区などから合わせて37名の参加があり、朝日地区公民館の人気講座となりつつあります。

これからも地域に愛される講座をめざして開催していきます。

縄文の里で雪合戦

村上わんぱく自然塾

村上地区公民館では、2月14日（日）に「わんぱく自然塾」の最後の活動として縄文の里朝日で雪遊びを実施しました。

少し雨が降っていましたが、子どもたちは仲間と助け合いながら、かまくらや雪合戦用の砦を作りました。



雪合戦は白熱した戦いとなりました

お昼は、村上地区公民館運営協力員お手製のトン汁を食べて体を温めた後に、待ちに待った雪合戦をしました。

雪合戦はチーム対抗で白熱した試合が繰り広げられました。

ピアノと声楽によるコンサート ～歌って楽しむ懐かしき歌・美しき日本の調べ～

童謡・唱歌・懐かしの叙情歌などを会場の皆さんと一緒に、よく響くホールで気持ち良く歌ってください。

プログラム 早春賦、北上夜曲、知床旅情、浜辺の歌、いい日旅立ち、月の沙漠、荒城の月など

と き 平成28年3月19日（土）13時30分開演～15時終演予定（13時開場）

出 演 ピアノ 石井 玲子 氏 バリトン 野口 雅史 氏 ソプラノ 西谷 純代 氏

会 場 村上市総合文化会館大ホール

入場料 500円（中学生以下無料・3歳以上入場可）

定 員 先着600名 全席自由

チケット販売 村上市総合文化会館、村上市生涯学習推進センター、荒川地区公民館、神林地区公民館
山北地区公民館でチケットを販売しています。

問合せ先 村上市総合文化会館 TEL 72 - 6700

遠い幼き日へタイムスリップ

山北で演劇と昔がたり

2月20日（土）さんぽく会館において、青少年育成事業として演劇鑑賞会を開催しました。最初に「とんとの昔の会」の皆さんによる昔がたりが始まると、子どもたちは、じっと耳を傾け、不思議なお話に聞き入っていました。温かな語りと囲炉裏端の情景は、懐かしく大人も幼き日へしばしタイムスリップです。

笑いあり涙ありの演劇を鑑賞



続いて上演された村上浪漫派の「嫁と姑ばさ」は神林の民話を元にして、地元弁で少し笑いありの感動の演劇でした。互いを思う気持ち、コミュニケーションの大切さを子どもたちも感じとれた演劇鑑賞会でした。

会場には、地域の方がケヤキ材で作った恐竜模型も展示され、「ウワァーすごい!」「素晴らしい!」と感嘆の声もあがり、大人も“子ども目線”で楽しめたひとときでした。

詩吟一日体験教室～詩吟で心豊かに～

声を出すことは健康に良いことです。詩吟に興味のある人はぜひおいでください

と き 3月30日（水）

14時～16時

ところ 神林地区公民館

（神林農村環境改善センター内）

対象者 一般

参加費 無料

申込み 3月25日（金）まで神林地区公民館へ

TEL 60-1500

家族円満のヒント

神林で法律講座

2月27日（土）に神林地区公民館で家族を守るための法律講座を開催しました。



不幸にならないポイントを学びました

講師の渋井保之さんは、新潟で活躍しているお笑い集団NAMARAとも業務提携しており、元裁判所書記官で不幸予防士というとても興味のある肩書を持っています。

芸人さながらの話術に、参加者の皆さんからは終始笑いがこぼれていました。

もちろん講座の内容は家族円満のヒントが盛りだくさんな真面目な内容で、妻と姑が喧嘩した場合、息子（夫）はどう動くのがベストか？など、具体例を新潟弁を用いて面白おかしく説明してくださりました。

定員が30名のところ37名の参加があり、興味・関心の高さがうかがえました。

菊づくり教室（年9回予定）

初心者中心の教室で、大菊三本立やだるま、福助など日本伝統の菊作りを楽しみます。

と き 毎月1回程度（初回は4月20日ごろ予定）

ところ 荒川地区公民館

内 容 視察研修や野外教室、文化祭菊花展出品などを予定

受講料 2,000円（年間）教材費含む

その他 菊の苗は用意してあります。

申込み 4月20日（水）まで荒川地区公民館へ

TEL 62-3050

おばあさんの しんぶん

戦後間もない頃の話である。山陰地方の海辺の村に戦時中疎開していた少年が、小学5年生のとき新聞配達を始めた。新聞が読みたかった。当時、新聞を購読する余裕のある家は多くなかった。

学校から帰ると配達先の老夫婦の家にいき、おじいさんが読み終えた新聞を毎日読ませてもらった。おじいさんが亡くなった後もその家への配達が続いた。

「勉強してえらい人になるんだよ」。おばあさんがお茶まで出して読ませてくれた。

おばあさんも3年後に亡くなった。中学3年になっていた少年は、葬儀で隣の人から「知っとったか？」と聞かれた。おばあさんは字が読めなかったという。「おばあさんは、おまえが来るのがうれしくて、新聞をとっておられたんだよ」少年は、涙が止まらなかった。

後に、少年（元出雲市長・元衆議院議員、岩國哲人さん）は、おばあさんへの感謝を込めて絵本にした。

絵本「おばあさんのしんぶん」（文と絵・松本春野、講談社、平成27年夏出版）

荒川地区公民館長 小川 勲

サークル紹介

神林「ハーモニカクラブ」です

私たちは、神林ハーモニカクラブです。小さなクラブですが、新潟県ハーモニカ協議会に入会して、年一回の発表会に参加しています。

なぜ発表会なのか、それは何事も一つ目標がないと上達しないからです。岩船町駅から歩いて3分の神林地区公民館で、童謡・唱歌・演歌などいろいろな曲を勉強しています。

最初から上手な人はいません。一つひとつの積み重ねがあつてこそ上達につながります。その過程がまた楽しいのです。



毎週火曜日午後1時30分から4時まで練習しています。瀬波、村上、荒川、神林など市内各地から集まっています。ポケットに入るオーケストラ、一度見に来てみませんか。

サークル紹介は、各地区公民館で活動している趣味や教養のクラブ・サークルを紹介するコーナーです。紙面に掲載希望のサークルは各地区公民館へお問合せください。

3月・4月の予定

- 3月19日（土）ピアノと声楽によるコンサート（朝日）
- 3月26日（土）文化会館映画の日（朝日）
- 4月23日（土）子ども読書の日イベント（中央図書館）
- 4月23日（土）おはなしワールド（神林）

広報誌「マナボーテ村上」の問合せ先

村上市生涯学習課 中央公民館

TEL 53-5111

FAX 53-2977

e-mail manabi@city.murakami.lg.jp